

賛助会員

有限会社浜野顕微鏡 (〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-18)

株式会社ヤクルト本社研究所 (〒186-8650 東京都国立市谷保 1796)

神協産業株式会社 (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

理研食品株式会社 (〒985-8540 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

マイクロアルジェコーポレーション株式会社 (〒500-8148 岐阜県岐阜市曙町 4-15)

日本製薬株式会社ライフテック部 (〒598-8558 大阪府泉佐野市住吉町 26)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

(株) 環境総合テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

(株) 日本港湾コンサルタント (〒140-0000 東京都品川区西五反田 8 丁目 3 番 6 号)

編集後記

和文誌藻類は3月、7月、11月に発行していますが、今年は編集作業が遅れ、2号と3号をお手元にお届けするのが大幅に遅れてしまいました。この場をお借りし、会員の皆様に深くお詫びします。来年は日本藻類学会創立60周年の記念すべき年です。記念行事の準備も進んでいますし、和文誌藻類でも記念記事を企画しています。創立40周年の若手メッセージ(藻類40巻)には、現在の各分野を先導する蒼々たる方々が寄稿されています。10年前の藻類(50巻)には、駄文ながら私も書かせていただきました。巻頭でお知らせしているとおり、60周年の記念記事にメッセージを寄稿して下さる若手の方を募集します。若手が育たない学会に未来はありません。学会の将来を担う皆さんのご寄稿をお待ちしています。(寺田)



コケモドキは地衣類? 藻類の迷訳看板発見

観光地には英語で書かれた看板がありますが、誤訳や意味不明な文章を時折見かけます。藻類が観光地の看板に登場することはほとんどありませんが、とんでもない迷訳(ほぼ誤訳)を見つけたので紹介します。鹿児島市の活火山、桜島には園山池という小さな海跡湖があり、観光客が立ち止まる場所のひとつになっています。道路沿いの看板には紅藻コケモドキ属藻類の生育地であることが紹介されていますが、肝心のコケモドキは「....kokemodoki richen (地衣類)」と訳されています(写真)。この英文は左の和文の直訳なのですが、フジマツモ科(Rhodomelaceae)が「Fujimatsumo Family (藤松藻一家?)、コケモドキ属(*Bostrychia*)が「Kokemodoki Genus」という有様です。外国人が読んでも全く理解できない文章に思わず苦笑してしまいました。ちなみに園山池は道路沿いの崖の下にあり、この場所から池を望むことはできません(池に下りる道也没有)。看板だけを見て次に移動するという不思議な観光地です。誰が翻訳者? 決して私ではありません。というよりも、設置のときに連絡がほしかった・・・(寺田)

